

歴史ある四万温泉郷を守る！

～水害リスクから地域経済を守る～

名湯四万温泉郷の安全性向上

四万川ダムの整備により、下流地域の水害リスクを軽減し、湯治客が安心して名湯四万温泉郷を訪れることができます！



四万温泉観光入込客数
令和5年度 312千人
(対前年比108.3%増加)



【効果】洪水時の安全性向上(令和元年東日本台風)

【効果①】

ダムによる下流水位の低減効果

四万川ダムがダム上流から流入した水を約350万m³（日本トーターグリーンダム前橋約5杯分）貯めたことにより、ダム下流の四万温泉駐車場付近において、**河川水位を約1m低減する効果がありました。**

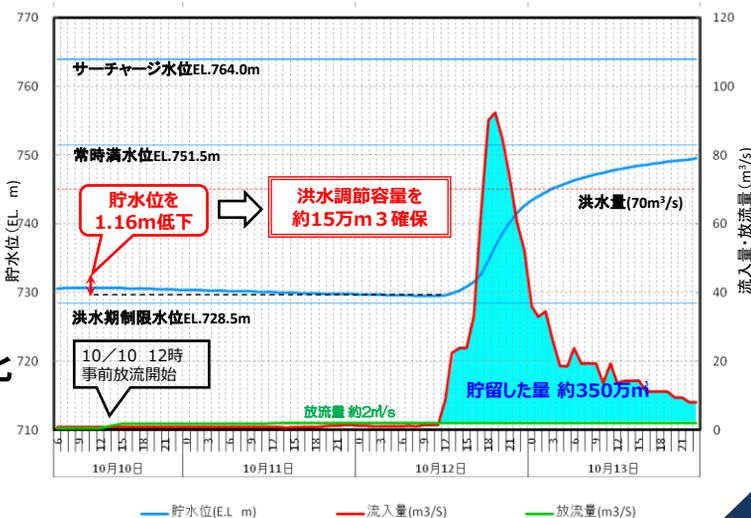


【効果②】

事前放流によりダムの洪水調節容量を強化

降雨時の洪水調節容量を確保するため、降雨前から水位を低下させる事前放流を実施し、貯水位を1.16m低下させました。これにより、洪水時の調節容量を約15万m³確保しました。

四万川ダム付近の雨量



ストック効果

霧積ダムに小水力発電所を整備！

～新たな再生可能エネルギーの創出～

水力発電の積極的導入

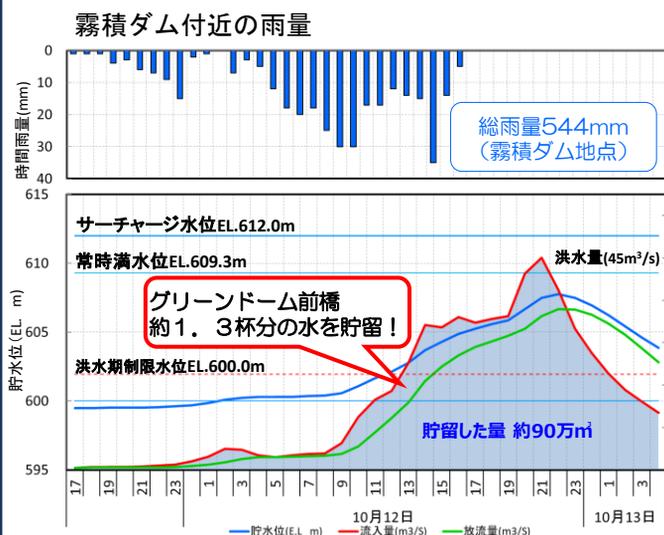
霧積ダムは、治水（洪水調節）と流水の正常な機能維持（既得取水の安定化・河川環境の保全）を目的に建設された多目的ダムです。

県企業局により、ダム落差を活用した小水力発電所を新設し、治水機能等を損なわずに新たな再生可能エネルギーを創出します。



【効果1】 ダムによる洪水調節機能

令和元年東日本台風により、ダム地点で総雨量554mmの豪雨を観測しました。しかし、霧積ダムで、洪水調節を行ったことにより、約90万m³の水を貯留し、ダムにおける治水機能を発揮しました。



【効果2】 新たな再生可能エネルギーの創出

小水力発電所の運転開始により、一年間で約230万kWhの電力を供給できるようになります。これは約580世帯が一年間に消費する電気量に相当します。

本県の恵まれた水資源を活かして再生可能エネルギーを創出することで、温室効果ガスの排出量削減に貢献します。

